

一般教育訓練明示書

2025.5.30現在

講座の名称	介護福祉科				
実施方法	① 通学(昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	1520114	—	1110012	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)(12人)	修了者数 (11人)	
平成21年 4月 1日	令和8年3月31日まで				
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間	2110時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		介護福祉士 国家資格			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		厚生労働省指定のカリキュラムを履修した者			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		介護福祉士 福祉業界 介護業務では必要な資格			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
人間と社会の領域 命の授業		30時間	プリント		
人間と社会の領域 人間の尊厳と自立		30時間	人間の理解		
人間と社会の領域 人間関係とコミュニケーション		30時間			
人間と社会の領域 チームマネジメント		30時間	プリント		
人間と社会の領域 現代社会		30時間	プリント		
人間と社会の領域 社会福祉		30時間	社会の理解		
人間と社会の領域 社会保障		60時間			
介護の領域 基本介護Ⅰ		120時間	介護の基本Ⅰ		
介護の領域 基本介護Ⅱ		60時間	介護の基本Ⅱ		
介護の領域 コミュニケーション技術		60時間	コミュニケーション技術		
介護の領域 生活支援技術Ⅰ		120時間	生活支援技術Ⅰ		
介護の領域 生活支援技術Ⅱ		120時間	生活支援技術Ⅱ		
介護の領域 生活支援技術Ⅲ		60時間	生活支援技術Ⅲ		
介護の領域 介護過程Ⅰ		60時間	介護過程		
介護の領域 介護過程Ⅱ		60時間			
介護の領域 介護過程Ⅲ		30時間			
介護の領域 介護総合演習Ⅰ		30時間	介護総合演習・介護実習		
介護の領域 介護総合演習Ⅱ		60時間			
介護の領域 介護総合演習Ⅲ		120時間			
介護の領域 介護実習Ⅰa		90時間	介護総合演習・介護実習		
介護の領域 介護実習Ⅰb		200時間			
介護の領域 介護実習Ⅱ		320時間			
こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解		60時間	発達と老化の理解		
こころとからだのしくみの領域 障害の理解		60時間	障害の理解		
こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみⅠ		60時間	こころとからだのしくみ		
こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみⅡ		60時間			
こころとからだのしくみの領域 認知症の理解		60時間	認知症の理解		
こころとからだのしくみの領域 医療的ケア		60時間	医療的ケア		
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		実務経験は問わない			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		高等学校卒業と同等以上の者であればその他特に問わない			
③その他					

一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	11	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	11	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	11	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	11	人			
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	10	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	2	人	②A: 就業者計 2人	
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	②B: 非就業者計	
	4 非就業	8	人		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 2人	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	2	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	9	人	④A: 就業者計 9人	
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	④B: 非就業者計	
	4 非就業者	1	人		
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 2人	
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	1	人		
	4 変わらない	1	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	8	人	⑥の回答数合計 22人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 早期に転職・再就職できる	1	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	4	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	2	人		
	7 趣味・教養に役立つ	4	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	0	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	8	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 8人	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	3	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 10人	
	2 おおむね満足	7	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		学期ごとに行う科目の定期試験及び実習の評価による成績表で把握			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
出席時間数が3分の2(実習は5分の4)を満たしている者で、各科目ごとに試験成績、履修状況、実習成果等を総合的に判断して100点満点のうち60点以上をもって認定する。卒業認定会議により2月末日に決定する。					

一般教育訓練明示書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		定期的に担任が個別面談をし助言、アドバイス指導を行う。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		資格取得のための試験対策授業を行う。 就職は、担任と就職担当が就職支援指導と求人情報を提供する。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	社会福祉法人長岡三古老人福祉会 (代表者名: 理事長 田中 晋)		
住所及び連絡先	長岡市福住1丁目7番21号 TEL 0258-31-2620		
施設名称及び施設長名	長岡介護福祉専門学校あゆみ (施設長: 学校長 佐藤 主一)		
住所及び連絡先	長岡市福住1丁目7番21号 TEL 0258-31-2622		
給付制度担当部署・者	事務局 (担当者: 竹内 敏広)		
連絡先	TEL 0258-31-2622		
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 760,000 円		
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	760,000 円	
③ 両方可能		(うち、必須教材費 0 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	実費 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1 + 2) (税込額) 760,000 円		

〔特記事項〕

--